

連携医療機関
紹介

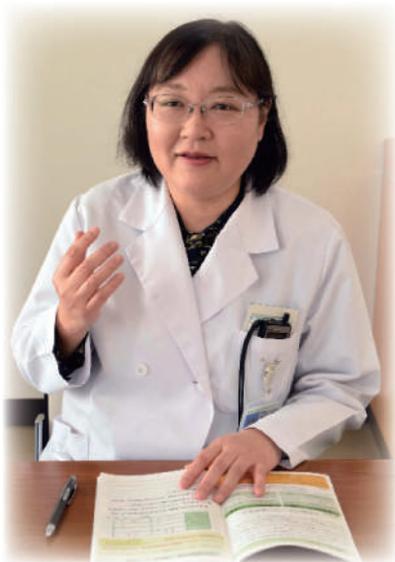
呉みどりヶ丘病院

理事長・院長 長尾 早江子



皆様、はじめまして、呉みどりヶ丘病院院長の長尾早江子（ながおさえこ）です。

当院は、本邦における民間では初めてのアルコール依存症治療専門病院として昭和45年に開院し、本年創立54周年を迎えました。広島県のアルコール依存症治療を担う中心的な医療機関としてチーム医療を主軸とした支援体制を確立し、2018年からは広島県依存症専門医療機関の一つとして、アルコール・薬物・ギャンブル依存症等の専門的医療を実践中です。また、児童思春期・大人の発達障害の専門外来を併設するとともに、厚労省の施策に準じ依存症の普及啓発活動にも力を入れています。加えて、近年では、地域のニーズに応えるべくレスパイト型入院（障害や難病をお持ちの方で、介護者の事情により一時的に在宅介護が困難となった場合に、環境調整も目的に踏まえた入院）も引き受けております。



ここで少しでも依存症に関するお話をさせていただきます。アルコールに限らずあらゆる依存症に至った経緯は人それぞれです。ただし、ちょっと驚くかもしれませんが、共通点の多くに、快（快感・楽しみ等）の追求ではなく、苦痛（生きづらさ等）の緩和の為に依存行動を続けていることが挙げられます。目を背けていると、徐々に心や体を蝕み、日常生活に支障をきたします。

メカニズム的には、繰り返された依存行動により脳内報酬系への影響を経て脳機能の変化が生じ、依存行動をコントロールすること自体ができなくなる病気です。進行してしまうと、心身ともに憔悴し、社会との接点が断たれ孤独感に苛まれるため、一時的に依存行動で凌ぐといった悪循環に陥っている方も少なくありません。

私たちはこの悪循環を断つため、医師だけでなく、多職種で構成されたチームで治療に臨みます。各々の専門的な視点から患者様の全体像を捉え、本人が依存に至ったプロセスを共に紐解き、依存行動を必要としない新たな生き方への伴走者となる事を目指しています。

チームで育てる 依存症治療・支援の木



少々固いお話となりましたが、これからも当院の基本理念である「おもいやり」を念頭に置き、地域に根差した病院を目指し精進してまいります。

その為には地域の皆さまとの連携は不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

呉みどりヶ丘病院

〒737-0001 広島県呉市阿賀北 1-15-45
院長 長尾 早江子